

第70回医用超音波検査講習会（講義編）

— アドバンスコース —

主催 日本超音波検査学会

日本超音波検査学会では超音波検査の普及および検査技術の向上を目的として、1975年より講習会を全国各地で実施し、毎回好評をいただいております。今回は腹部領域のアドバンス講習会として1日目には「明日から必ず役に立つ、下腹部領域の超音波検査」を、2日目には「臨床医が求める腹部超音波検査とは」を企画しました。日常のルーチン検査にとどまらず、「この症状のときは何を診るのか?」、「診療側で何を知りたいのか?」が理解でき、明日からの検査のステップアップにつながる講習会になることと確信しております。

講師には臨床の第一戦で活躍中の医師・技師にお願いしておりますので、臨床診断に貢献する超音波検査へのアプローチとして本講習会への参加をお勧めいたします。

協賛メーカー

東芝メディカル株

記

日 時：2003年10月18日（土）

19日（日）

会 場：札幌医科大学教育研究棟1階講堂

定 員：150名

受 講 料：1日のみ 会員4,000円、非会員11,000円

2日間 会員8,000円、非会員22,000円

申込方法：所定の申込葉書に必要事項（会員番号を忘れずに）をご記入のうえお申し込みください。

折り返し受講証をお送りいたします。受講料は受講証が到着次第、指定の銀行口座へご入金ください。

連絡先：〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-42-1 折原ビル内 日本超音波検査学会 講習会事務局

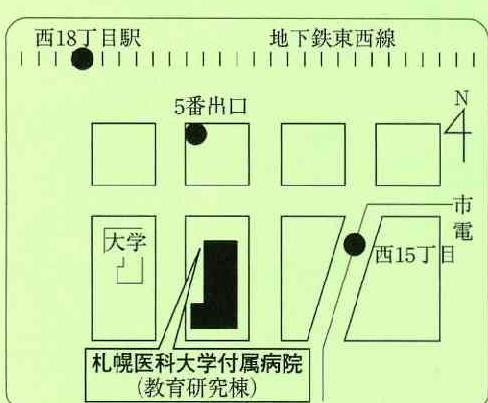
TEL 03-5976-9022 FAX 03-3945-0355

ご注意：*受講の手続きにつきましては、しばらく時間がかかりますのでご了承ください。

*受講料の払い戻しは原則としていたしません。ただし、ご都合の悪い場合は代理の方の出席を認めますが、会員で申し込み非会員の方が出席の場合はその差額を頂きます。

*申し込みの段階で会員でない場合は、非会員扱いとさせていただきます。

*会場内へのビデオの持ち込みは固くお断りいたします。



札幌医科大学臨床研究棟1階 大講堂

北海道札幌市中央区南1条西16丁目

（附属病院の北側）

□札幌市営地下鉄東西線「西18丁目駅」下車

5番出口より徒歩3分

□札幌市営電車「西15丁目」下車徒歩3分

プログラム

10月18日(土)

時 間	内 容	講 師
13:30~14:00	受 付	
14:00~14:10	オリエンテーション	
第1部 「明日から必ず役に立つ、下腹部領域の超音波検査」		
司会 戸田 康文 (帯広厚生病院放射線技術部門)		
14:10~14:40	骨盤腔の超音波解剖 骨盤腔の臓器、血管の位置関係など超音波検査に必要な解剖知識について述べる。	西田 瞳 (札幌医科大学医学研究科放射線治療診断学／太黒胃腸科病院超音波部)
司会 横村 淳子 (北海道労働保健管理協会臨床検査部)		
14:40~15:40	※あなたにもわかる子宮・卵巢の超音波検査 婦人科疾患の判読ポイントや注意点などについて述べる。	林 純美 (天使病院生理機能検査部)
15:50~16:50	※泌尿器疾患でのカラードプラの利用方法 腎臓、膀胱、精巣などで主としてカラードプラの有効活用について述べる。	沖中 英紀 (王子総合病院臨床検査科)
司会 鬼柳かおり (東旭川病院検査科)		
17:00~18:30	※消化管領域の超音波検査 急性腹症、特に炎症性疾患を中心に検査の進め方と判読ポイントについて述べる。	畠 二郎 (川崎医科大学検査診断学)

※ハンズ・オンを予定しています。

10月19日(日)

時 間	内 容	講 師
8:30~9:00	受 付	
第2部 「臨床医が求める腹部超音波検査とは」		
司会 佐藤 圭永 (北海道労医協中央病院検査科)		
9:00~10:30	内科医は何が知りたいのか?—症状・データに応じたチェックポイント— 症状や検査データ別に超音波検査を行ううえでの注意点やIVR治療に必要な情報など	大村 卓味 (札幌厚生病院消化器科)
10:40~12:10	手術支援のための3次元超音波診断 肝胆脾領域における手術のための立体的進展度診断とレポートの書き方	久米 明倫 (名古屋大学大学院器官調節外科)
第3部 「この症例をどう読むか」		
司会 高玉 敬洋 (札幌厚生病院放射線技術部門)		
12:10~13:00	この症例をどう読みレポートを作成するか 実際の症例から学ぶ各施設におけるレポート作成のコツとそのポイント 報告者 島崎 洋 (札幌厚生病院放射線技術部門) 江口 市朗 (新日鐵室蘭総合病院放射線科)	